

衆議院法務委員会ニュース

平成 29.3.24 第 193 回国会第 6 号

3 月 24 日（金）、第 6 回の委員会が開かれました。

1 裁判所職員定員法の一部を改正する法律案（内閣提出第 4 号）

裁判所法の一部を改正する法律案（内閣提出第 5 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）日本大学大学院法務研究科教授 角 田 正 紀君
弁護士 郷 原 信 郎君
全司法労働組合中央執行委員長 中 矢 正 晴君

（質疑者及び主な質疑内容）

山 田 賢 司君（自民）

- ・法曹以外にも社会に貢献する職業がある中で、司法修習生には修習給付金を支給して経済的に支援をすることの意義について、角田参考人の見解を伺いたい。
- ・実務に即した教育を行う法科大学院と実務研修を行う司法研修所とを一本化すべきとの意見について、郷原参考人の見解を伺いたい。

國 重 徹君（公明）

- ・角田参考人及び郷原参考人それぞれが法曹を志望した当時の状況で、法科大学院を中核とする現行の法曹養成制度であったならば、志望したか、伺いたい。
- ・法曹志望者数が減少している最大の原因について、角田参考人及び郷原参考人の見解を伺いたい。
- ・貸与制の下で司法修習を行った者に対する経済的支援策及びその支援策を行うに当たり国民の理解を得るための理由付けについて、角田参考人及び郷原参考人の見解を伺いたい。

階 猛君（民進）

- ・法曹養成制度の現状は、三権の一つである司法が破綻の危機にあると認識しているが、この危機を踏まえた法曹養成制度改革の必要性について、角田参考人、郷原参考人及び中矢参考人の見解を伺いたい。
- ・法学部生に対するアンケート調査の結果から法科大学院進学が負担となっていることを踏まえ、法科大学院修了を司法試験の受験資格としないこととすべきと考えるが、角田参考人及び郷原参考人の見解を伺いたい。
- ・通信傍受やGPS捜査などの新しい捜査手法が導入されることによる令状事件処理の困難さが今後増すことを踏まえた令状事件処理の在り方について、郷原参考人の見解を伺いたい。

畑 野 君 枝君（共産）

- ・今回の裁判所職員定員法改正案は、国家公務員の女性活躍推進及びワーク・ライフ・バランスの推進の観点から増員の措置が講じられていたり、最高裁判所の概算要求における増員数が削減されたりしているが、中矢参考人の見解を伺いたい。
- ・今回の裁判所法改正案は、修習給付金の金額が十分でないことや貸与制の下で司法修習を行った者に対する救済がないことといった問題があると考えますが、角田参考人及び郷原参考人の見解を伺いたい。

松 浪 健 太君（維新）

- ・これまでの法曹養成に関する政策は失敗であったとの評価に対する角田参考人及び郷原参考人の見解を伺いたい。
- ・十分な教育ができない法科大学院は淘汰されるべきとの考えについて、角田参考人及び郷原参考人の見解を伺いたい。